

歴史的建造物のホテル

子供の頃の思い出が甦ってくる。高級ホテルに宿泊する人たちの姿を見るだけで皆お金持ちに見えた。この人は普段どんな暮らしぶりをしているのであろうか。仕事は？自宅は？着る物、持ち物のすべて何もかもが高級品に見えて来る。それは今も同じ思いである。

シンガポールの中心地・セントラルビジネス地区に最高級ホテル「ザ・フルトン・ホテル・シンガポール」がある。建物の外観を見ると近代的超高層ビル群が立ち並ぶ中に、ドーリア式の円柱などに特徴のあるパラディアン様式の堂々たる歴史的建造物のホテルであった。

この建物は1928年完成。初代海峡植民地総督であったロバート・フラトンに因んでフラトンビルと名付けられ、中央郵便局や政府機関などが入居した。また第二次世界大戦中の日本軍侵略時に、イギリス軍内で降伏について話し合われた場所でもあった。そして2001年に240億円かけて今のホテルを大改装。元郵便局とは思えないほどの高級感が溢れ、ロビー、レストランをはじめ400の客室と各設備は5星ホテルに相応しい。

ここの名物は「英国式ハイティーン」のティタイム時のサービスである。場所、雰囲気、サービス、ドリンクの種類、料理の量と味は最高級。値段は43シンガポールドル（3870円）税サ別。そして宿泊料金は1人4~5万円程度。安いか高いかの問題でなく価値があるか無いかだと思う。次にシンガポールを訪れた際には是非ここで宿泊したいと思う。但しもう少しお金の余裕が出来たときのことだけだ。その時が楽しみだ。



撮影 2014 年秋

